

### 優勝は「赤いバラ」(柗壮寿会) 老連ペタンク大会

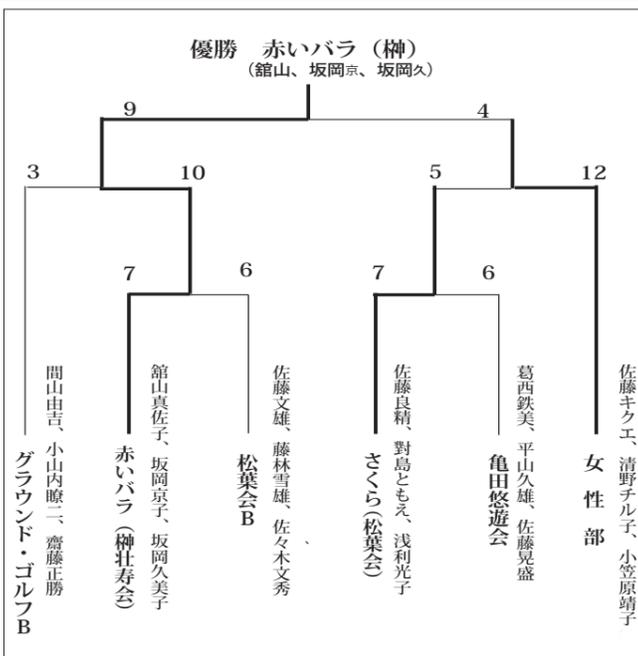
令和元年度第3回老連会長杯ペタンク大会は、7月18日(木)、スポーツプラザ藤崎で開催された。参加チームは、昨年と同じ18チーム54名(男25名、女29名)で、スポーツ推進員・老連役員を加え60余名の人数で熱戦が繰り広げられた。

各単位クラブでは、総会や集会時にペタンク大会を行うなど普及が進み、各チームとも実力向上が著しく、見応えのある試合が続いた。また、今回は女性チームの活躍が目立ち、勝ちどきと声援が響いていた。

試合は3チームによるリーグ戦を行い、勝ち抜いた6チームによるトーナメント戦で順位を決めた。3位は決定戦を行わず2チームが3位となった。

優勝は「赤いバラ(柗)」チーム、準優勝は女性部、3位は「さくら(久井名館)」と「グラウンド・ゴルフB」の2チームが勝ち進んだ。結果は左表の通り。

順位	参加チーム名
1	小畑チーム
2	西豊田豊寿会A
3	西豊田豊寿会B
4	常盤あじさい
5	常盤ラベンダー
6	中野目長寿会
7	東町Aチーム
8	東町Bチーム
9	赤いバラ(柗壮寿会)
10	亀田悠遊会
11	松葉会さくら
12	ひまわり(女性部)
13	松葉会
14	女性部
15	G・ゴルフA
16	G・ゴルフB
17	菊花クラブ
18	いきいきクラブ



発行者  
藤崎町老人クラブ連合会  
広報委員会  
藤崎老人福祉センター内  
電話 七五―三三三―



優勝「赤いバラ」  
坂岡、館山、坂岡



令和元年度 藤崎町老連ペタンク大会 2019.7.18

### 女性部 体験コーナー

今回は静かなブームになっている「折り紙」です。真四角な折り紙から何が出来あがりますか……ご参加をお待ちしております。

- 一、日時 8月22日(木) 10時～14時
- 二、場所 藤崎老人福祉センター 集會室
- 三、講師 佐藤 緑氏 女性部役員・日本舞踊部長
- 四、参加費 三〇〇円(昼食代) 当日集金
- 五、材料 女性部で準備
- 六、申込先 8月9日(金)
- 七、申込先 藤崎老人福祉センター
- 八、申込先 藤崎老人福祉センター
- 九、申込先 藤崎老人福祉センター

### 夏季トランプ大会のお知らせ

- 一、日時 8月24日(土)、受付 午前9時30分～10時 開会 午前10時
- 二、場所 藤崎老人福祉センター 集會室
- 三、対象者 町内老人クラブ会員で男女は問いません。
- 四、種目 個人戦のみ(午前2試合、午後2試合)
- 五、費用 一、〇〇〇円(当日集金します。)
- 六、単位クラブ会長へお願い
- 七、申込み

### 町老連 第二回理事会のお知らせ

- 一、日時 9月7日(土) 午前10時
- 二、場所 藤崎老人福祉センター 集會室
- 三、案件 ① 会員増強運動について ② 長寿顕彰・健老の集いについて ③ 町老連の今後の行事予定について ④ その他

### 長寿顕彰式・健老の集いのお知らせ

- 一、日時 9月14日(土) 午前9時
- 二、会場 藤崎町文化センター 大ホール
- 三、受付 8時30分～9時
- 四、内容
  - 長寿顕彰式 9時～9時50分
  - 最高長寿、白寿(99歳)、95歳、米寿(88歳)、ダイヤモンド婚(60周年)、金婚(50周年)
  - 健老の集い 10時～12時
  - 講演会「目指せノ健康・長寿」
  - 百寿者に学ぶ食生活と歌謡似顔絵ショー 60分
  - 講師 みやまひろお(札幌市在住)
  - 演芸会
    - ・藤崎保育所・みずきこども園
    - ・老人クラブ連合会(レクダンス部)
    - ・ふじの会「藤崎音頭」

### 県知事表彰等・県老連発表大会 一般観覧参加者募集

- 一、日時 9月25日(水) 午前10時
- 二、場所 リンクステーション青森
- 三、会費 一、五〇〇円(昼食・賛助金を含む)
- 四、募集定員・申込締切日 10名 8月24日(土)まで
- 五、申込先 常盤・藤崎・両福祉センター窓口
- 六、当日のバス 常盤老人福祉センター発 8時 藤崎老人福祉センター発 8時15分

8月行事予定表		
日	曜	行事
1	木	囲碁・将棋部 12:30
2	金	
3	土	
4	日	
5	月	役員会 10:00
6	火	レクダンス部 13:30
7	水	菊花部 13:00
8	木	囲碁・将棋部 12:30
9	金	芸能部 12:00
10	土	
11	日	山の日
12	月	振替休日
13	火	
14	水	菊花部 13:00
15	木	町成人式 14:00
16	金	芸能部 12:00
17	土	
18	日	
19	月	芸能部 12:00
20	火	日本舞踊部 12:00 囲碁・将棋部 12:30
21	水	レクダンス部 13:30 菊花部 13:00 広報委員会 13:30
22	木	女性部体験コーナー 10:00 囲碁・将棋部 12:30
23	金	芸能部 12:00
24	土	老連トランプ大会 10:00
25	日	
26	月	芸能部 12:00 生け花部 10:30
27	火	日本舞踊部 12:00 囲碁・将棋部 12:30
28	水	茶道部 13:00
29	木	レクダンス部 13:30
30	金	【白寿】配布日 12時以降
31	土	

# 「楽しかった、水陸両用バスの遊覧体験」

## 柗壮寿会

柗老人クラブ（柗壮寿会）は、6月27日(木)、世界遺産と水源の里「にしめや」の水陸両用バスでダム湖遊覧、見学を実施しました。

現在、人気が高く、なかなか予約が取れない中、ブナの里「白神館」の配慮で日程を確保し、当日9時30分柗公民館を一行38名（男10名、女28名）で出発しました。心配された天気も皆さんの若さあふれる活気でふつとばし、水陸両用バス定員40名の席を当会員でほぼ満席とし、道の駅「津軽白神」を出発しました。

バスの車窓からは、「目屋溪」や「鷹の巣」など、素晴らしい景色を眺めながら津軽ダムに向いました。晴らしい湖面に突っ込む時は皆さんの歓声とともに水しぶきが豪快に舞い上がり全員感動しました。その後、ダム湖を約20分間ゆったりと遊覧しました。さすが当地の自然の奥深さを実感して一行は出発地へ引き返しました。ほとんどの人は始めての経験で豊富な水資源を活用した「水陸両用バス」の乗車体験を満喫しました。

「白神館」に到着後、会食と懇談に入り、ここでも普段磨きをかけている歌や踊りを披露して場の雰囲気盛り上げました。十八番の歌も予約が殺到し、帰る時間も忘れるほどあっという間に過ぎ去りました。

なお、歌や踊った人は御褒美として地元商店の商品券



令和元年度 柗壮寿会研修旅行（津軽白神湖遊覧） 2019.6.27

を頂き喜んでいました。帰路は新装なった道の駅「津軽白神」で特産品を買い、バスの中で



津軽白神湖を水陸両用バスで遊覧

### 古老が語る 「物知りの記録」(2)

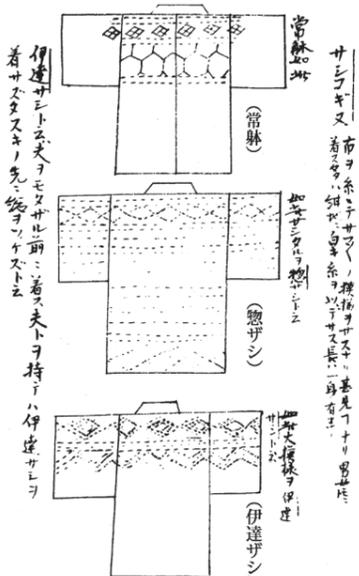
#### 大字若松地区（平成3年6月26日収録）

##### 古老2 79歳

1 今は無いが昔あったとかのものについて  
若松で向若松が上村で一番にぎやかであった。柗の神社の所から向若松を通って東光寺に行く道が本通りであった。

若松の村（集落）は、35軒よりなかった。常盤と若松は喧嘩が絶えず、柗の応援を得た。

2 衣食住について  
「ボド」（布を針で何度も刺して繕った古着）を着た。



さしこぎぬ（奥民図彙）

食べ物 鱒、筋子をよく食べた。  
若者を働かせる時、ウント働け、働け、晩にシスコ（筋子）と納豆の御馳走を出すので働け、働けと言った。

鱒が一番の御馳走だった  
昔、1週間賄いとか10日に一回、魚を食わせた。仕えていけば（借子）5日賄い、であれば5日目の日に、鱒1切れ出された。

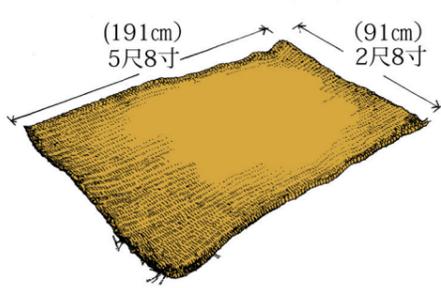
これがキマ良くて（嬉しくて）その晩1晩かねで（食べないで）鱒を見て1晩かね（食べない）だど、次の日から5日間で食べねばまねはで、2日目から少しずつ食べたもんだ。

5日賄いは良い方で1週間賄いの家庭が多かった。その間ただ眺めているだけである。鱒か、イワシ、ニシンである。ニシンを米糠で漬けておいて、小さい切れ身で出す。これがとても嬉しかった。

住まい 萱屋根で玄関の付いている家は、何軒もなかった。

（粉殻）を敷いて、その上に「ムシロ」を敷いた。敷布団の中に藁を入れた。5月（田植え）で苗の残ったものを干して、それで布団をこしらえた。貧しい家はそれが多かった。

#### むしろ（筵）



葬祭 葬式があれば、黒石に花々を買いに行った。香典は10銭、法事の包みは1円〜5円であった。

遊び 兵隊ごっこ  
なじよっこ（なぞなぞ）

小正月の子供の行事 女の子は「カパカパ」をやった。色紙で人の形を作って箆に縛って刺して着物を着ている様子に作ってそれを小正月の16日に毎戸を回る。家の中に入れて「カパーカパー」と言つて「縁起の良い決まり文句」を唱える。男の子は、春馬をやった。



農民男女の服装（奥民図彙）

イネ苗の残つて干したものを使用し、馬の形をこしらえる。縄を付けて家の中へどつと投げた女の子と同様な決まり文句を言う。女の子の「カパカパ」と男の「春馬」は一緒に行くのではない。袋をかき、その家ではモチをくれた。

### ◆ 歯なしの話 ◆

マニユアル（Manual） 佐藤 透

ウィキペディア（インターネット百科事典）によると、手引書・取扱説明書と掲載されている。さて、マニユアル通りに行うという言い方がある。その様にして物事がスムーズに行えるからという訳である。それではこの世の中はマニユアル通りに進んでいるのかという思いに至る。また、世の中でうまくいっていないことなどは何故なんだろうといった思いに至る。

例えば、医療事故・交通事故・工事による事故等々さまざまにトラブルがある。先日の大津の衝突事故によって幼子が犠牲になった事例はマニユアル通りであったのだろうか。直進が優先で右折車は安全に流れるまで待たなければならなかったのではないだろうか。

よくある事例では、病院の予約ミスによる事故がある。これはマニユアルによる確認をするという手順をおろそかにした場合が多いのかと考えられる。ある病院の入院時の投薬・血液採取・血圧・採尿・輸液等々は、その度に患者確認をとってから行っている。その作業を怠ると人の持っている最大の欠点であるうっかりミスが防ぎきれないのではと考える。とにかく事故を防ぐために必要なことを行うことの一つにマニユアルがあるということである。

そして、ある大学の先生が言っていたことが記憶に新しい。もし、マニユアルを作つて物事を進めていくと、人というものはマニユアルのためのマニユアルを作るようになる。そうすると広辞苑（厚さ8cm）より厚いものが出るそうである。そうすると皆マニユアルを見ないだろうと言っていた。（これはブラック・ユーモアである）ではどうすればよいか……まずは出来る限り簡単なマニユアルを作り、それに従つて実行する。その分は本人自身の自覚ということになり、毎回の確認、更にはそのチェックを忘れないということに尽きると思う。

### ◆ 川柳 ◆

女房に逝かれて晴れぬ日々続く  
野呂 文坊

一服だ園のこもれ陽アイス売り  
佐々木トミエ

荷の中に母の手作りバツケ味噌  
木村 羊川

引越しの最後仏壇出して終え  
清水 川魚

雨やあいそろそろ土にお恵みを  
小笠原みなみ